

# 第5学年 学級活動指導案

指導者 金野 辰教

児童 男13名 女11名 計24名

場所 5年教室

- 1 議題名 「『係活動でハッピープロジェクト』をしよう」  
学級活動（1）ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

## 2 活動を意図した背景

### (1) 児童の実態

本学級の児童は明るく素直で、男女の仲もよい。また、普段から学校生活をより楽しみたいという気持ちも強く、そのためにみんなで自然と協力して活動する姿が多く見られる。

4月は1年間の活動の見通しをもち、それぞれの個人目標を意思決定した。また、学級会の進め方や話合いの約束などについて共通理解を図り、より楽しい学級を目指して議題を設定して話合いを進めてきた。5月には、自分達のなりたい姿や高学年として求められていることについて深く考え、自分も友達も成長できる学級目標をみんなで話し合い、決定した。自然教室では、その学級目標をもとにみんなで考えたスローガンを掲げ、準備から本番まで意欲的に取り組み、一連の活動を通して学級みんなで協力する意義や楽しさを学ぶことができた。また、これまで以上に工夫してよりよいものを生み出そうとする意欲をもつこともできた。

一方で、自分の思いや考えを強くもちすぎるあまり、周りの友達の考えや意見を上手に取り入れることが難しい児童や、自分の思いをもっていても、なかなか発言できないために話合いでそれらを生かすことができない児童もいるという現状がある。

### (2) 教師の思い・願い

本議題は、学級活動の大きな軸の一つである係活動をより充実したものにしていこうことを目的として挙げられたものである。これまでの各々の係活動を通して得られた成果や課題を次の取組に反映させるとともに、活動が途切れることなく続くように環境を整えていく。

そのための手立てである「係活動でハッピープロジェクト」では、どうすれば自分の係も他の係も楽しく充実した活動を継続・発展させられるかという視点で内容を話し合っ決めていく。その過程で自分や友達の考え方や思いを互いに深く知り合い、協力してよりよい学級をつくっていかうとする意識を高めていく。個人としても学級としても、現状に満足しないで止まることなく成長していくという意識をもって活動できるように指導していく。楽しく学校生活を送るためにすべきことは何かを常に考え、絶えず実践していこうとする姿勢も育てていきたい。

(3) 研究主題に関わって

視点1 かかわる について

- 学級の友達と一緒に係活動をよりよいものにしようと工夫することで、自分の得意なことを生かしたり、友達のよさを見付けられるようにしたりする。
- これまでの係活動を振り返る場を設け、取組の成果や課題、活動への思いや意識を学級全体で確認・共有できるようにする。

視点2 つながる について

- 係活動をより充実させるために、自分たちにどんなことができるかを学級で話し合い、決めたことを実践することで楽しさや達成感を味わわせるようにする。
- 係活動を充実させるための取組を経験することで、新しい活動を創り出したり発展させたりするよさを実感し、今後の生活に生かせるようにする。

3 活動のねらいと評価規準

【活動のねらい】

『係活動でハッピープロジェクト』をしよう」の活動を通して、学級の係活動の現状についてよく振り返り、今後の活動をより楽しく充実させる取組を考え、実践することができるようにする。

【評価規準】

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。
集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し合って実践している。
主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

#### 4 活動の流れ

月 日	○活動の内容 ・児童の思いや願い	☆指導上の留意点と 研究に関わる視点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
8月23日(水)	○2学期の係活動を決める ・○○係は2学期も続けたい。 ・1学期とは違う係活動をしたい。	☆1学期での活動の様子を振り返らせ、学級生活を充実・向上させる係活動を考えるよう促す。 →視点1	◎学級生活を豊かにするための活動内容について具体的に考えている。 【思考・判断・表現】 (発言・観察)
24日(木)から	○2学期の係活動を行う	☆自発的、自主的な活動になるように適宜助言しながら見守る。	◎進んで自分の係活動に取り組んでいる。 【主体的態度】 (活動・観察)
9月15日(金)	○2学期の係活動のこれまでの活動状況について振り返る ・しっかり活動できている。 ・もっと盛り上がることをしたい。	☆アンケート等を用いて、自分達の活動の現状について共通理解を図らせる。 →視点2	◎自分の係活動の現状について詳しく振り返っている。 【思考・判断・表現】 (アンケート)
9月19日(火) ～ 22日(金)	○第1回計画委員会 アンケート結果を示し、2学期の係活動をより充実させるための学級会を行うことを確認する。会の内容について話し合い、原案を作成する。 ・係活動コーナーを工夫しよう。 ・他の係とコラボして活動しよう。	☆係活動をより充実させるためにどのような方法や取組が考えられるか、具体例をいくつか挙げて示す。	◎どんな内容について話し合うかを考え、発言しようとしている。 【主体的態度】 (発言・観察)
9月25日(月)	○原案説明会 計画委員会で考えた原案の説明をし、提案理由や内容について共通理解を図る。計画委員会以外の児童は、自分の考えを書き込んでおく。 ・計画委員会の提案に賛成です。理由は～。 ・この取組は、もっと○○するとよいと思う。なぜかという～。	☆賛成意見や改善意見の「理由」まで具体的に書くように促す。	◎提案内容についての自分の考えとその理由を提案シートに書くことができる。 【思考・判断・表現】 (提案シート)
9月26日(火) ～ 28日(木)	○第2回計画委員会 話し合う内容の確認をし、予想される意見や学級会全体の流れについて考える。提案者は、わかりやすく提案できるような方法を選び、発表用掲示物などの準備をする。	☆当日の話し合いでは、どのような手順を踏むのかを助言する。	◎役割、話し合いの進行の仕方等を理解している。 【知識・技能】 (活動計画・観察)

9月29日（金） 本時	○学級会 「係活動でハッピープロジェクトをしよう」	☆進行がスムーズに進むように司会チームに助言し、記録チームの支援に入る。 →視点1・2	
10月以降	○話し合いで決めた取組を実践して係活動をより充実させていく	☆話し合いで決めた取組が確実に為されているか活動の様子を見守りながら適宜助言・支援する。 →視点1・2	◎係活動をより充実させるために、進んで活動に取り組んでいる。 【主体的態度】 【思考・判断・表現】 （活動・観察）

## 5 本時のねらい

これまでの係活動の取組について振り返り、どうすればより学級全員が楽しめる係活動になるか考えることができる。

[見取りの視点]・自分の考えを理由とともに発表し、活動をより楽しく充実させるためにという視点で話し合い活動に取り組むことができる。

6 本時の展開

議 題	「係活動でハッピープロジェクト」をしよう	
提案理由	係活動を今よりももっと楽しく取り組むために、「係活動でハッピープロジェクト」の内容をみんなで話し合って決めたいです。	
話し合いのめあて	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の考えやその理由を、相手に聞こえる声の大きさではっきりと話す。</li> <li>• 友達の意見や考えをよく聞き、よりよい活動にするためのアイディアを考える。</li> </ul>	
	児童の活動	• 教師の支援
① はじめの言葉 ② 司会グループの紹介 ③ 提案者から（議題のたしかめ、提案理由・原案の説明）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <b>「係活動でハッピープロジェクト」をしよう</b> </div>	
④ 話し合いのめあての確かめ ⑤ 先生の話 ⑥ 話し合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 記録係が、出てきた発言内容を整理し、わかりやすく板書できるように助言・支援する。</li> <li>• 発言内容の違いに注目し、少数意見も取り入れてよりよい取組に決まるように意識させる。</li> </ul>	
<p><b>本時で話し合うこと</b></p> <p><b>〔柱1〕「係活動でハッピープロジェクト」の内容を決めよう</b></p> <p>○予想される考え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「係コーナー」の掲示を工夫して、どの係の活動もよくわかるようにしたらよい。</li> <li>• 「係活動祭り」を企画して、それぞれの活動をアピールし合えばとても盛り上がると思う。</li> </ul> <p><b>〔柱2〕プロジェクトを実行するために必要なことを決めよう</b></p> <p>○予想される考え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「係コーナー」には、係ごとのポストを作りたい。</li> <li>• 「係活動祭り」では、係コラボをしたい。</li> </ul>		
⑦ 決まったことの確かめ ⑧ 振り返り ⑨ 先生の話 ⑩ おわりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>視点1</b> これまでの係活動を振り返る場を設け、取組の成果や課題、活動への思いや意識を学級全体で確認・共有できるようにする。</li> <li>• <b>視点2</b> 係活動をより充実させるために、自分たちにどんなことができるかを学級で話し合い、決めたことを実践することでの楽しさや達成感を味わわせ、以降の活動にもさらに意欲的に取り組むことができるようにする。</li> </ul>	